

山形大学人材育成プログラム2026 リーンマネジメント推進リーダーコース

事業改善、収益改善、生産性向上を担うリーダー人材に必要な
思考法、マネジメントの基礎、スキルセットを体系的に、実践的に学びます。

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、学校教育法第105条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした多様かつ高度な、職業上必要な専門知識・技術習得に応じた学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書(Certificate)を交付するものです。

デジタルトランスフォーメーション等による大変革の時代に**持続的に豊かであるために**、既存事業の業務改善・収益性改善、そして新たな仕事の進め方を創造できる、広い視野と行動力を持った人材の育成に向け、必要なマインドセットと科学的なマネジメントの基礎(見える化、ムダと付加価値)と専門的な改善手法を理解して、自社に適した生産性向上にチャレンジする**自律型リーダーの育成**を目指します。

受講期間 毎週火曜(一部水曜) 全18回

2026.6/23(火)～11/4(水)

受講形式：原則対面(オンライン参加も可)
対象者：企業、職場、部門のリーダーおよびリーダー候補
定員：社会人40名(先着順)
受講料：社会人25万円/人
会場：山形県産業創造支援センター、他

講師紹介



小野寺 忠司
山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター
センター長



菅生 達仁
山形大学 准教授
アントレプレナーシップ教育研究センター
副センター長



柴田 孝氏
山形大学 客員教授



成沢 俊子氏
ピーキュー株式会社
代表取締役



石山 正浩氏
ものづくり
経営コンサルタント

受講申し込み 申込み切：2026.4/24(金)

- 申し込みフォームによるお申し込みの場合
…下記URLまたは右記のQRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/jUCHnqzxdTE7dxC89>
- 申込書によるお申し込みの場合
…裏面ご記入いただき、ご郵送またはFAXでお申し込みください。



主なプログラム内容

- マインドセットとリーダーシップ
目的意識を高く持つ必要性、理論のレンズの活用
モチベーションを高める思考法、ものの見方と働く意義、他
- リーンマネジメントの基礎、手法、活用
リーンマネジメントの原点、5S3定、ECRSの原則
ものと情報の流れ図(VSM)/動線図
IE(Industrial Engineering)
TWI(Training Within Industry) 他
- 現場実習
協力企業での改善提案、成果発表



受講者の声

- ・リーンマネジメント、TWI、トヨタ生産方式、財務三表の読み解き方など、**実務に直結する知識を体系的に学ぶことができた。**
- ・学んでいくうちに**自分の意識が変わっていき、今日は何んだかという楽しみになっていた。**
- ・近隣企業の**自分と同じような立場の方々**と交流できたことは大変良い経験となりました。
- ・リーダーとしてご活躍している皆さんから、**ムダとカイゼンを繰り返し、とことん突き詰めてカイゼン案に導く姿勢にはとても刺激を受けた。**
- ・現場実習までしっかり学習でき、**最高のメンバーと共に高めあうことができた。**
- ・今後、組織を動かす以上、私だけでなく、**同志を増やすためにも、来年もぜひ後輩を送り込んで、仲間を増やしていきたい。**

暫定版：2026年度リーンマネジメント推進リーダー育成コースカリキュラム

プログラム期間、日程、内容は変更になる可能性があります。

カテゴリ		テーマ	内容	時間	講師	
第1回 6/23(火) 10:00-12:30	開講式	開講式	主催者挨拶、オリエンテーション、自己紹介	1.5		
		特別講演	京西テクノス株式会社 専務取締役 大嶽 充弘 様	1.0		
第2回 6/30(火) 10:00-15:00	リーダーシップ マインドセット マネジメントの基礎	アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップとは	2.0	菅生	
			オーセンティックリーダーシップ	2.0	小野寺	
マネジメントの原点		目的意識の必要性、理論のレンズの活用 マネジメントの目的 モチベーションを高めるものの方と働く意義	4.0	柴田		
		経営数字の見える化	財務状況の見える化、科学的な経営 原価管理/見積管理、利益感度分析	4.0	石山	
第5回 7/22(水) 10:00-15:00		リーンマネジメント（トヨタ マネジメント）の概念と理念①	カイゼンが生まれた背景 トヨタマネジメントの原点、トヨタの現場力	2.0	柴田 (石山)	
			リーンマネジメント（トヨタ マネジメント）手法の活用①	リーン生産方式 フロー効率とリソース効率、線の改善	2.0	石山 (柴田)
第6回 7/28(火) 10:00-15:00		リーンマネジメント（トヨタ マネジメント）の概念と理念②	カイゼン前の意識変革、自助論	2.0	柴田 (石山)	
			点の改善 (5S3定、7つのムダ、見える化、自工程品質保証、等)	2.0	石山 (柴田)	
第7回 8/04(火) 10:00-15:00		スキルセット (技術/手法/知識)	リーンマネジメント（トヨタ マネジメント）の実践 ※	IE（Industrial Engineering）の原点と応用	2.0	柴田 (石山)
				自分の職場のリードタイム短縮を阻害するムダを探す or 管理業務（間接業務）におけるIEの活用	2.0	石山 柴田
VSM、動線図の活用①	現状および将来のVSM/動線図を描く		4.0	石山 (柴田)		
良い職場、よい人間関係 (ハイブリッド) TWI-JR 人の扱い方	改善・TWIのヒストリー 人の問題を扱う4段階法、言い分や気持ちをつかむ 確かな信頼関係が、よりよい問題解決を導く		4.0	成沢		
TWI-JM 改善の仕方 ※ (両日のいずれかに参加)	線の改善と点の改善 作業を観察しECRSで改善していく、標準作業とTWI-JM		4.0	成沢		
TWI-JI 仕事の教え方 ※	教え方の4段階、教えるための作業分解 教えるための用意の仕方		4.0	成沢		
VSM、動線図の活用② (両日のいずれかに参加)	VSM、動線図を活用した問題解決手法 所属企業の現場のVSM、動線図作成		4.0	柴田 石山 成沢		
DXの実践	企業におけるDX活用事例 DXを活用した課題解決に向けて		3.0	赤間 柴田 石山		
第14回 10/06(火) 10:00-15:00	ブラクティス (実践)		現場実習の準備	現場実習の概要説明、事前準備	4.0	柴田 成沢 石山
			講義の振り返り	現状認識の再確認 本コースで学んだことの自社での実践に向けて		
第15回 10/14(水) 10:00-16:00	ブラクティス (実践)	現場実習①	企業工場見学1日目 現場調査・課題ヒヤリング VSM現状図の作成 グループディスカッション	5.0	石山 (柴田) (成沢)	
第16回 10/20(火) 10:00-16:00		現場実習②	企業工場見学2日目 VSM・動線図の作成/改善案検討 グループディスカッション	5.0	石山 (柴田) (成沢)	
第17回 10/27(火) 10:00-16:00		現場実習③	企業工場見学3日目 VSMの将来図作成 成果発表会に向けたまとめ	5.0	石山 (柴田) (成沢)	
第18回 11/04(水) 10:00-12:30	修了式	成果発表会	成果発表 (各チームから)	2.0		
		修了式	修了証書授与、代表挨拶	0.5		
				合計 71.0		

山形大学人材育成プログラム2026 リーン・マネジメント推進リーダーコース

受講申込書

申込日	年 月 日		
フリガナ	生年月日(西暦)		性別
氏名 (漢字)	年 月 日		男・女
所属先			
所属部門			
役職			
所属先住所	郵便物を受け取ることのできる住所 (いずれかに○ 勤務先・自宅) 〒		
電話番号			
E-mail	※講義の連絡で使用するPCのアドレスをご記入ください。会社等で常に使用しているアドレスを推奨します。		
応募動機			
ご対応窓口 (氏名・ e-mailアドレス)	※ご本人と異なる対応窓口がある場合は記載してください。		

※プログラム期間、内容は現在検討中であり、変更になる可能性があります。申込者には、詳細が決定次第、ご連絡いたします。
※申込者多数の場合は、選考を行うことがあります。

個人情報取り扱いへの同意について

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターでは、お預かりした個人情報について、以下のとおり適正かつ安全に管理・運用します。

- 利用目的
当センターは、収集した個人情報について、以下の目的のために利用します。
なお、提供された個人情報を適切に管理し、これ以外の目的には利用しません。
(1) 申し込まれたプログラムの受講に必要な資料の送付のため
(2) 申し込まれたプログラムに関する受講者の問い合わせに対応するため
(3) 申し込まれたプログラムに関する連絡事項を受講者へ送付するため
(4) 申し込まれたプログラムの受講者の受講状況の把握及び管理を行うため
(5) 申し込まれたプログラムの改良や、新たなプログラム開設のための受講者の属性に応じた統計的利用のため
(6) 申し込まれたプログラムの修了に伴う修了証の授与のため
(7) その他、申し込まれたプログラムの開設及び運用に必要な目的のため
(8) 当センターが将来開設するプログラムの案内をするため
- 第三者提供
当センターは、以下の場合を除いて、個人データを第三者へ提供することはありません。
(1) 法令に基づく場合
(2) 人の生命・身体・財産を保護するために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合
(3) 公衆衛生の向上・児童の健全な育成のために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合
(4) 国の機関や地方公共団体、その委託者などによる法令事務の遂行にあたって協力する必要がある、かつ本人の同意を得ることで事務遂行に影響が生じる可能性がある場合
- 開示請求
貴殿の個人情報について、ご本人には、開示・訂正・削除・利用停止を請求する権利があります。手続きにあたっては、ご本人確認のうえ対応させていただきますが、代理人の場合も可能です。詳細については、以下「個人情報相談窓口」へご連絡ください。

個人情報相談窓口
総務部総務課法規・訟務担当
〒990-8560 山形市小白川町1丁目4番12号
TEL.023-628-4009
[受付時間] 9:00~17:00 (12:00~13:00を除く。)
[休業日] 土・日・祝日、12月29日~1月3日、
その他大学が定めた一斉休業日

以上

私は、私に関する個人情報について、同センターが上記のとおり取り扱うことについて同意します。

令和 年 月 日

本人署名